

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

<http://www.mito.jrc.or.jp>

2023.01
Vol.27

100^h
since
1923
2023
Anniversary

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

虹



院長挨拶 クリスマスコンサート
～プロの音楽家と地元高校生の共演～

医療機器共同利用
～大腸CT検査について～

地域医療連携講演会を開催しました
就任・退任のお知らせ



新年のご挨拶

水戸赤十字病院 院長 佐藤 宏喜



新年、あけましておめでとうございます。

2022年は、コロナ対応に注力する一方、通常診療のひっ迫に強い危機感を抱いた年でした。昨夏、第7波による感染拡大の影響で、出勤停止となるスタッフが相次ぎ、救急搬送の受入れや入院診療を一部制限せざるを得ない状況になりました。医療は必要不可欠な社会インフラです。求められる医療を提供できない事態は、地域にとっては重大な問題です。世の中は、「ウイズコロナ」の名の下に社会経済活動の正常化に向けて動き出しているところですが、医療機関としては、コロナ対応と通常診療の両輪を回していくことが求められ、引き続き、予断を許さない状況であることを実感しております。

さて、当院は、今年6月に創立100周年を迎えます。いつの時代も皆さまからの温かい声に支えられ、地域とともに歩んできた100年です。当院に関わる全ての皆さまに、心から感謝を申し上げます。

当院は、創立から現在に至るまで、その時代の社会情勢や医療ニーズに適切に対応できる「地域に愛され、信頼される病院」を目指してまいりました。今年度から、将来の在り方を検討すべく、新棟建設も含めた基本構想の策定に着手しました。がん診療、地域周産期医療、災害医療の3本柱に加えて、各領域の低侵襲かつ高度な専門的医療や救急医療においても地域の期待に応える病院となれるよう、ハードとソフト両面の充実を図ってまいります。

100周年の年頭に当たり、皆さまへ当院の情報をお届けする広報誌「虹」のデザインも気持ち新たにリニューアルいたしました。今後は月1回発行を予定していますので、ご覧いただけますと幸いです。

また、コロナ禍はもちろん、地域医療構想、医師の働き方改革やDX推進など医療機関を取り巻く環境は大きな変革の波の中です。当院は、この変革の波を乗り切り、次の100年も、地域の皆さまに必要とされる病院で在り続けるために、職員一丸となって歩みを進めてまいります。



クリスマスコンサート

～プロの音楽家と地元高校生の共演～

令和4年12月7日、院内でクリスマスコンサートを開催しました。第24回目となる当イベントは、対面では実に3年ぶりの開催でした。今回は、世界で活躍する3人のプロの音楽家が、ボランティアでお越しください、茨城県立水戸第三高等学校の音楽科及びコーラス部の生徒と共演し、心に響く素晴らしい演奏を披露していただきました。

コロナウイルスの感染状況により、会場ではやむを得ず観客を制限し、入院中の患者さまには、各病室のテレビでライブ映像をお楽しみいただきました。ご覧になった患者さまからは、「清らかな歌と情熱的な演奏が素晴らしい」「心が癒され、励みになった」とのお声をいただきました。



茨城県立水戸第三高等学校の生徒の皆さん



(左から)

ピアノ 中川 彩さん

チェロ 諸岡 由美子さん

ハープ 邊見 美帆子さん



Information

医療機器共同利用 ～大腸CT検査について～

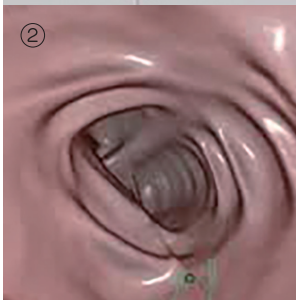
当院ではCTやMRI、大腸CT検査（CTコロノグラフィ）、骨密度測定、RI検査等の高額医療機器を地域の医療機関の皆さまに共同でご利用いただいております。

今回はそのひとつ、大腸CT検査をご紹介します。この検査では、大腸に炭酸ガスを注入し、膨らませた状態でCT撮影を行い、コンピュータで作成した3次元画像を用いて、病気の有無を調べます。低侵襲で苦痛が少ないため、内視鏡検査で苦痛を感じる患者さん（腹部、骨盤内手術後の方など）や、内視鏡検査を希望されない患者さんに適しています（平坦型の腫瘍や小さなポリープの検出においては、内視鏡検査よりも精度が劣りますのでご注意ください）。

なお、検査の予約については、当日申込と事前予約が可能です。依頼方法や依頼書など、詳しくは当院ホームページをご覧ください。



①仮想注腸像



②仮想内視鏡像



水戸赤十字病院ホームページ

各医療機関の先生方へ

高額医療機器の共同利用について

医療機関の先生方へ

地域医療連携講演会を開催しました。

令和4年7月14日(木)、地域の医療機関の皆さまとの「顔の見える連携」を目指す取組として、地域医療連携講演会を開催しました。多くの医療機関の皆さまにご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

第一部では、泌尿器科、外科、婦人科の3科の医師から、当院におけるロボット支援手術の現況について、導入から現在までの経過と実績、実際の手術映像、各分野における当院の強みなどを紹介させていただきました。

第二部は、基調講演として、茨城県保健医療部長 森川博司氏をお招きし、「茨城県保健医療部における取組」について、いばらき幸福度指標における「安心・安全」に対する取組のうち、新型コロナウイルス感染症対策、地域医療構想、医師確保対策等についてご講演いただきました。

今後も、連携医療機関の皆さまへ当院の情報を発信できるよう努めてまいります。



対面とオンライン配信を同時に行うハイブリッド形式で開催しました。



泌尿器科 野澤英雄 副院長



外科 清水芳政 上部消化管外科部長



婦人科 杉山将樹 産婦人科部長

令和4年度第2回地域医療連携講演会を開催します

- ◆開催日時 令和5年2月27日(月)
- ◆開催形式 オンライン配信(zoom使用)
- ◆登壇者 整形外科部長 埜口 博司/皮膚科部長 小林 桂子 ほか 詳細は後日ご案内いたします。

産科の電話予約について

受診希望の妊婦さんからの電話予約を受け付けております。

☎ 029-221-5177(代)

受付時間: 9:00~16:30(月~金)

※休診日(土・日・祝日など)を除きます。

「産科外来の予約を希望」とお伝えください。



● 就任のお知らせ

放射線科 副部長
ゆうき たけお
結城 健生
【令和4年8月1日付】

産婦人科
ばば さおり
馬場 彩穂里
【令和4年10月1日付】

整形外科
よねだ なつお
米田 夏雄
【令和4年10月1日付】

左記の職員が新たに就任いたしました。よろしくお願いたします。

● 退任のお知らせ

整形外科 **伊藤 弘樹**
【令和4年9月30日付】

産婦人科 **李佳陽**
【令和4年9月30日付】

上記の職員が退任いたしました。大変お世話になりました。

紹介状持参のお願い

次の場合は、「紹介状」が必要です。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合



お持ちでない方は

選定療養費 **7,700円** (税込) が必要となります。

産科を受診される方は、選定療養費はかかりません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。